



大妖怪・玉藻前！
貴様の狼藉も
これまでだ！

醜悪極まる貴様の命
この場で祓ってくれる！

これはまた…
男とは思えぬ程
随分と見目麗しい
陰陽師だな

それにしても
祓うときか

はてさて
どうしたものかな





さあ

な、なんだ
この体…っ

存分に
私を求めろ

妖狐の体とは…
こんな…っ

私の心が
墮とされる…っ

ダメだ…
目が逸らせない…

グン…

だ、だめだ…
だめなのに…

む

わぁ

体が…
本能が逆らえないっ

~~~~っ♡♡♡♡

キリッ

ゅ

うん♡

そうだ  
そのまま我が乳房に  
身を任せよ

モロ♡

……っ♡

妖狐の乳房は  
凶器にもなり得る

それを  
その身で味わうといい

そら  
乳房で犯してやる

むっ♡

な、なんだ  
これは…♡

むわあ

この胸は…

胸ではない

すー…  
はー…

少し汗ばんでいて  
そこから発せられる  
いやらしい淫香

情欲を掻き立てられる  
心地よい肉感

はあ…♡

はあ…♡

！  
こいつ心を…

「胸」ではなく  
「おっぱい」と言え

な、貴様…

なんだ  
乳房に犯され  
喘いでいた  
情け無い男が  
今更  
なんの強がりだ？



ふふふつ  
随分と幸せそうだな？

はー……♡  
お、おのれ……♡

わ…私は…  
貴様なんかに…っ♡

こんな…  
お、おっぱいなんか  
屈したりは…っ

とろ♡



れろ♡  
ん♡  
ちゅる♡

ちゅる♡



はははっ  
絶頂したか

触れても  
もらえずに

惨めなイチモツだな

なんという…  
多幸感…

なんという…  
快楽……♡



か、カリカリ…  
するなあ…♡

んああ♡

ふふふつ  
あまりに惨めなのでな  
少しは触れてやろう

贅沢なやつめ  
妖狐の尾でイチモツを  
弄られるなど  
人間では再現できない  
至極の快楽だぞ？

ではいつそ  
こんなのは  
どうだ？



んおおおっ!♡

尾で包まれてしまうと  
もはや女性器をも凌駕する  
極楽だろう？

射精が  
湯水の如く  
ダダ漏れではないか



し、しぬう…っ

蕩けすぎて…  
あ、足に力が  
入らぬ…♡

ぴ

ら

♡♡♡♡



な、何を…

陰陽の

私の子を  
孕む気は無いのか？

我が妖術によって  
その身もメスに  
してやれるぞ？

この魔羅も  
妖術によるものだ

ふ、ふざけたことを

ふざけているのはお前だ



なにをときめいている

男の身でありながら  
この魔羅を見て  
欲している男など  
もはや男ではない



孕みたいのだろう？

無いはずの子宮を  
腹の奥底で感じ  
排卵しているとさえ  
錯覚しているのだろう？

屈するものか……!

私は男だ!  
貴様のような化け物に  
この心も体も  
1寸たりとも  
くれてやるものか!

そうか?

……

な、なんだ……っ!?

先ほどの接吻の時  
唾液に「妖狐化の術」を  
混ぜ込んでおいたのだ

怖がる事はない  
妖狐の体は  
快楽に溺れるために  
あるような  
最上のメスの体だ  
溢れんばかりの  
性欲がちと厄介だが  
今以上の快楽を  
味わえる

しかしおかしいなあ?  
発動するには  
対象が心底孕みたがっている  
ことが条件なのだが……

ば、バカな……っ  
そんなはずは無い

この私が……  
お前の魔羅に  
思いを馳せるなど……っ

ぴゅ……

ぴょーっ♡

びゅん

びゅん

新しい…  
いや

本来あるべき姿となった  
お前のその体  
そのメスとしての性  
その身でとくと味わえ

なんという快感…♡  
まるで自分の体では  
無いような…♡

この魔羅に  
犯されるためだけに  
存在するとさえ  
感じるこの体♡

胸はおっぱいに  
変わりゆき…

イチモツは機能を失い  
勃起さえ  
出来なくなりつつある…

生まれながらにして  
敗北することが  
決っていたような…

この魔羅に  
支配されるという  
充足感♡

おおこれは素晴らしい  
中々にいい具合だ

口では  
なんとも吠えようと  
中は娼婦の如く  
啜えこんでくる



全てが気持ちいい♡



男？

おとこ？

私が？

魔羅を  
堪能している  
この私が…？  
気娘のような  
声をあげながら



男？



堪えろっ♡

心を保て…っ♡

男で在ったことを  
忘れるなっ♡

……



…ははは

私は何を勘違い  
していたのだ

本当の私は…

そうだ…  
私はただ偶々  
男の体として  
生まれただけ

さあ言え  
お前は何だ



どうかっ  
この身を妖狐に変えて  
下さいませ!♡♡

私は

私は御身のメスに  
ございます!♡♡



はははっ  
よく素直になった

では褒美だ

妖狐に変わりゆくその身で  
我が精液を受け止めよ

あああああっ♡



今日がお前の  
新しい誕生日だ

私のメス狐として  
よく励めよ